



お客さんにこづゆを振る舞う星会長(左から2人目)



猪苗代湖を眺めながらいただくお茶は格別です

## 女将たちがおもてなし

町営牧場で「おかめの会さくら祭り」

町内の旅館やホテルの女将でつくる「おかめの会」と町商工会翁島支部は5月6日、町営牧場で「まきばのさくらロードおかめの会さくら祭り」を開きました。

今年で3回目の開催で、会場では、女将らがこづゆなどを振る舞ったほか、お茶の野だてや民話の語り、よさこいの演舞などを繰り広げ、訪れた皆さんを楽しませました。

同会の星久子会長は「ことしは桜が散るのが早く、葉桜の中での開催でしたが、多くの皆さんにおいでいただきました。アンケートでは『桜がなくても素晴らしい景色』『手作り感がとてもいい』など大変好評でした。今後も手作り感や絆を大切に祭りを継続し、町おこしにつなげていきたい」と話しました。



フラ、よさこい、オールディーズバンドなど、多彩な催しを繰り広げた会場。桜はすでに散っていましたが、多くの人でにぎわいました

## ゲレンデ逆走マラソンが開幕

お花見&猪苗代湖一望レースを開催

スキー場のゲレンデを駆け上がる「ゲレンデ逆走マラソン」の今季開幕戦「山頂がゴール！お花見&猪苗代湖一望レース」は5月6日、グランドサンピア猪苗代リゾートスキー場で開かれました。

レースは10キロと5キロの2部門で競われ、県内外から集まった約240人の選手たちが猪苗代湖を眼下に望むコースを力強く駆け抜けました。

ゲレンデ逆走マラソンは、「GAMBARUZO! ふくしま実行委員会」が東京電力福島第一原発事故の風評被害払拭などを目的に2011年から開催していて、今季は町内の6スキー場を舞台に全6戦が繰り広げられます。



天鏡台を駆け抜ける10キロの部の参加者。レースはまだ序盤。笑顔を見せる余裕もあります。



蛇行しながらコース終盤の急なゲレンデを登る選手たち。中には手をつきながら登る人も



【VOICE】兄弟で参加

吉田廉さん(右=猪苗代高2年)4回目

睦さん(左=猪苗代中1年)初参加

(廉さん)きついで、スキーのトレーニングにいいと思います。今後もゲレンデ逆走にチャレンジしたいです。  
(睦さん)最後の登りがとてもきつかったけど、レース後に見下ろした景色がとてもきれいで、達成感がとてもありました。



## Pick Up

今月のイベント

## 観音寺川の桜を 七色の光が照らす



ふくしまDC

観音寺川に機材を設置する  
有志の皆さん

4月25日から5月6日まで開催された、観音寺川桜まつりに合わせて、「7色変色ライトアップ」が行われました。

このイベントは、町商工会青年部とOBの有志により、ことし初めて実施。発光する色を自在に変えることができるLEDライトを10基使用し、桜まつり駐車場付近の桜並木を七色の光で照らし出しました。

ライトアップは期間中の毎日、午後6時から午後10時まで行われ、有志の皆さんが開始時刻にライトのスイッチを入れると、「うわー、きれい」「こんなの初めて見た」などと、訪れた花見客からは感嘆の声が上がりました。

今回の事業は、この機材を使用し桜のライトアップを実施している、埼玉県の吉見町商工会青年部の協力により実施。使用した機材も同部から借り受けたものです。有志の一人が埼玉県の出身で、吉見町商工会青年部の部員と親交があることから実現しました。

有志の一人として参加した前部長の吉野貴之さんは「評判はとても良く、大きな可能性を感じました。四季を通じて町内の他の場所でも実施し、観光誘客につなげていきたい」と話しました。

まちの応援マガジン いなわしろ  
広報猪苗代  
May.2015  
6  
No.656



今月の表紙

ライトアップで日中とは全く別の顔を見せる観音寺川の桜並木。自在に色を変えられるライトが桜や川面を七色に照らし出し、訪れた人たちを幻想の世界へといざないました。

【撮影日】 4月27日

【撮影場所】 観音寺川

## Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 おかめの会さくらまつり／ゲレンデ逆走マラソン
- 04 写真特集 町内小学校運動会
- 06 まちのわだい
- 08 笑顔でこんにちは／サークル紹介
- 09 ぜひお試しを「猪苗代健康体操」／猪苗代勢が会津総体スポ少ソフトで優勝・準優勝
- 10 磐梯山山開き 【特別企画】磐梯山登山密着レポート
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー